

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン
 コード番号 8253 URL <http://www.saisoncard.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 岡田 治美
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

TEL 03-3982-0700

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	171,203	—	30,443	—	28,714	—	15,614	—
20年3月期第2四半期	177,379	7.1	32,132	△19.4	32,975	△23.6	12,228	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	86.72	85.98
20年3月期第2四半期	68.02	65.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	2,497,467	430,199	15.9	2,210.28
20年3月期	2,450,637	418,661	15.8	2,147.04

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 398,166百万円 20年3月期 386,279百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	342,000	△1.0	53,000	△7.3	52,000	△10.5	25,500	△4.7	141.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 181,884,725株 20年3月期 181,651,525株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,741,646株 20年3月期 1,739,124株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 180,054,202株 20年3月期第2四半期 179,776,050株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・平成20年9月25日に公表しました連結業績予想を本資料において通期について修正しております。

・本資料に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	270,000 △2.8	36,000 7.1	39,000 6.7	22,500 △8.5	124 74

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成 20 年 9 月 25 日に公表しました個別業績予想を本資料において通期について修正しております。
- ・本資料に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油や原材料等の高騰に伴う消費者物価への影響を背景に消費の冷え込みが強まる中、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱等により、国内企業の景況感悪化が続き、景気の後退色が一段と鮮明になってきております。

ノンバンク業界においては、改正貸金業法の影響が事業の収益構造を大きく変えるなど、新たな競争環境のもと業界再編が進むものと考えられます。

不動産並びに不動産金融業界においても、上記のサブプライムローン問題を契機とする急激な信用収縮等により、不動産取引の流動性が著しく低下しております。

このような状況において、当第 2 四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

営業収益は 1,712 億 3 百万円（前年同期比 3.5%減）となりました。主力の「クレジットサービス事業」では、ショッピング取扱高の拡大に伴いショッピング収益が増加したものの、キャッシング市場規模全体が縮小傾向にある中、キャッシング取扱高が減少し、同事業全体ではほぼ前年並みとなりました。「ファイナンス事業」では信用保証事業、リース事業が順調に進捗しましたが、一方で、不動産担保ローン収益が減少いたしました。また、「不動産関連事業」では、想定していた以上のスピードと規模で悪化した不動産市況の影響を受けたことに加え、大型物件の売上が複数含まれていた前年の反動の影響もあり、減収となりました。

営業利益は 304 億 43 百万円（前年同期比 5.3%減）、**経常利益**は 287 億 14 百万円（前年同期比 12.9%減）となりました。「不動産関連事業」において、債務保証損失引当金や求償債権に対する貸倒引当金が増加したものの、「クレジットサービス事業」においては、利息返還請求が高水準ながらも増加傾向から徐々に沈静化へと向かっていること、また、前年にキャッシング金利の早期引下げを実施したことにより利息返還損失引当金繰入額等の貸倒コストが減少したことや、営業ネットワークの再構築を含めた、連結各社の営業経費の削減努力等により、販売費及び一般管理費は 1,291 億 59 百万円（前年同期比 4.1%減）となっております。

四半期純利益は 156 億 14 百万円（前年同期比 27.7%増）となりました。これは、米国 MasterCard Inc. の株式売却益 14 億 50 百万円を計上するなど、特別利益が 28 億 36 百万円（前年同期比 62.9%増）となったことに加え、事業構造改革損失等を計上していた前年と比べ、特別損失が 20 億 65 百万円（前年同期比 58.2%減）と、大幅に減少したことによるものです。

以上の結果、**1 株当たり四半期純利益**は 86 円 72 銭となりました。

※前年同期増減率につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 468 億 30 百万円増加し、2 兆 4,974 億 67 百万円となりました。主な増加要因としては、クレジットカード債権を中心とした割賦売掛金が 156 億 31 百万円増加したことによるものです。

当第 2 四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して 352 億 92 百万円増加し、2 兆 672 億 68 百万円となりました。主な増加要因としては、コマーシャル・ペーパーの発行や金融機関からの借入等により有利子負債が増加したことによるものです。

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して 115 億 38 百万円増加し、4,301 億 99 百万円となりました。主な増加要因としては、利益剰余金が増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 2 四半期までの当社グループの業績と昨今の経営環境を踏まえ、通期の業績予想を以下のとおり変更いたしました。

＜平成 21 年 3 月期 連結業績予想＞ (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 9 月 25 日公表)	347,000	52,000	51,000	24,000
今回修正予想 (B)	342,000	53,000	52,000	25,500
増減額 (B - A)	△5,000	1,000	1,000	1,500
増減率 (%)	△1.4	1.9	2.0	6.3

(参考)

＜平成 21 年 3 月期 個別業績予想＞ (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 9 月 25 日公表)	275,000	35,500	38,000	22,000
今回修正予想 (B)	270,000	36,000	39,000	22,500
増減額 (B - A)	△5,000	500	1,000	500
増減率 (%)	△1.8	1.4	2.6	2.3

今後も消費者物価の高騰を背景とした消費の冷え込みや、サブプライムローン問題を契機とする不動産マーケットや株式マーケットの低迷が継続するものと見込んでおります。また、ノンバンク業界におきましては、貸金業法・割賦販売法等、関係法令の改正による規制の影響を受け、厳しい経営環境が続くものと予想されますが、上記の業績予想を達成できるよう引き続き努力してまいります。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき判断した予想であります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・四半期財務諸表に関する会計基準等

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・棚卸資産の評価方法

従来、棚卸資産の評価基準については、個別法による原価法によっておりましたが、第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号）が適用されたことに伴い、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

・営業目的の出資等の計上区分

従来、「投資その他の資産」(投資有価証券)に含めて表示しておりました営業投資有価証券については、第 1 四半期連結会計期間において、営業目的での出資等が増加したため、第 1 四半期連結会計期間より流動資産の「営業投資有価証券」として表示しております。この変更による損益に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度末の「投資その他の資産」(投資有価証券)に含まれる当該営業投資有価証券の額は 4,470 百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成20年 9 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,283	57,244
割賦売掛金	1,753,588	1,737,956
営業投資有価証券	16,712	—
有価証券	—	2,499
販売用不動産	170,267	164,016
買取債権	27,278	29,926
その他のたな卸資産	1,485	4,085
その他	112,142	98,331
貸倒引当金	△81,790	△75,300
流動資産合計	2,054,966	2,018,760
固定資産		
有形固定資産	218,285	212,242
無形固定資産	58,316	47,825
投資その他の資産		
投資その他の資産	182,023	187,039
貸倒引当金	△16,799	△15,598
投資損失引当金	—	△304
投資その他の資産合計	165,223	171,136
固定資産合計	441,824	431,204
繰延資産	676	672
資産合計	2,497,467	2,450,637

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成20年 9 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,599	217,059
短期借入金	394,609	406,901
1 年内返済予定の長期借入金	74,685	67,078
1 年内償還予定の社債	27,355	16,825
コマーシャル・ペーパー	157,500	114,000
1 年内償還予定の債権譲渡支払債務	13,107	14,272
未払法人税等	13,149	15,018
賞与引当金	2,452	2,082
役員賞与引当金	67	98
利息返還損失引当金	10,363	11,630
事業構造改革損失引当金	397	435
商品券回収損失引当金	136	141
割賦利益繰延	6,007	5,703
その他	37,851	43,136
流動負債合計	933,282	914,382
固定負債		
社債	265,810	283,977
長期借入金	721,132	715,103
債権譲渡支払債務	9,000	20,698
債権流動化借入金	40,000	—
退職給付引当金	3,935	5,326
役員退職慰労引当金	116	241
債務保証損失引当金	4,124	3,608
瑕疵保証引当金	98	124
ポイント引当金	49,801	45,474
利息返還損失引当金	30,386	33,841
負ののれん	1,557	298
その他	8,024	8,900
固定負債合計	1,133,985	1,117,593
負債合計	2,067,268	2,031,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,929	75,684
資本剰余金	81,574	81,330
利益剰余金	236,430	225,855
自己株式	△6,098	△6,092
株主資本合計	387,835	376,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,514	10,171
繰延ヘッジ損益	△183	△670
評価・換算差額等合計	10,331	9,501
新株予約権	0	—
少数株主持分	32,032	32,381
純資産合計	430,199	418,661
負債純資産合計	2,497,467	2,450,637

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第 2 四半期連結累計期間	
(自 平成20年 4 月 1 日	
至 平成20年 9 月 30 日)	
営業収益	
クレジットサービス事業収益	125,799
ファイナンス事業利益	
ファイナンス事業収益	56,223
ファイナンス事業原価	36,355
ファイナンス事業利益	19,867
不動産関連事業利益	
不動産関連事業収益	41,323
不動産関連事業原価	28,498
不動産関連事業利益	12,824
エンタテインメント事業利益	
エンタテインメント事業収益	48,494
エンタテインメント事業原価	40,482
エンタテインメント事業利益	8,011
その他の事業利益	
その他の事業収益	960
その他の事業原価	—
その他の事業利益	960
金融収益	3,740
営業収益合計	171,203
営業費用	
販売費及び一般管理費	
ポイント引当金繰入額	6,844
貸倒引当金繰入額	26,416
利息返還損失引当金繰入額	2,962
債務保証損失引当金繰入額	2,453
支払手数料	26,113
その他	64,369
販売費及び一般管理費合計	129,159
金融費用	11,601
営業費用合計	140,760
営業利益	30,443
営業外収益	
受取利息	93
受取配当金	555
負ののれん償却額	15
償却債権取立益	280
その他	551
営業外収益合計	1,497
営業外費用	
支払利息	1,441
持分法による投資損失	286
貸倒引当金繰入額	1,100
その他	397
営業外費用合計	3,225
経常利益	28,714

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	
特別利益	
固定資産売却益	796
投資有価証券売却益	1,451
その他	588
特別利益合計	2,836
特別損失	
投資有価証券評価損	1,722
その他	343
特別損失合計	2,065
税金等調整前四半期純利益	29,485
法人税、住民税及び事業税	15,907
法人税等調整額	△3,308
法人税等合計	12,599
少数株主利益	1,272
四半期純利益	15,614

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 7 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

該当事項はありません。

【参考資料】

前中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)	
区分	金額(百万円)	
I 営業収益		
1 クレジットサービス事業収益		125,444
2 ファイナンス事業利益		
ファイナンス事業収益	55,114	
ファイナンス事業原価	33,597	21,516
3 不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	62,737	
不動産関連事業原価	45,424	17,312
4 エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	58,718	
エンタテインメント事業原価	51,395	7,323
5 その他の事業利益		
その他の事業収益	819	
その他の事業原価	—	819
6 金融収益		4,962
営業収益合計		177,379
II 営業費用		
1 販売費及び一般管理費		134,695
2 金融費用		10,551
営業費用合計		145,247
営業利益		32,132
III 営業外収益		
1 受取利息	69	
2 受取配当金	695	
3 負ののれん償却額	54	
4 持分法による投資利益	689	
5 投資事業組合等分配益	126	
6 その他	503	2,139
IV 営業外費用		
1 支払利息	1,023	
2 その他	273	1,296
経常利益		32,975

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月 30 日)	
区分	金額(百万円)	
V 特別利益		
1 投資有価証券売却益	324	
2 投資有価証券償還益	1,390	
3 その他	26	1,741
VI 特別損失		
1 固定資産処分損	190	
2 減損損失	449	
3 投資有価証券評価損	1,632	
4 投資有価証券売却損	4	
5 事業構造改革損失	2,440	
6 持分変動損失	66	
7 商品券回収損失引当金繰入額	111	
8 その他	47	4,943
税金等調整前中間純利益		29,772
法人税、住民税及び事業税	19,779	
法人税等調整額	△6,037	13,741
少数株主利益		3,803
中間純利益		12,228